

羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック（素案）に対する
区民意見公募手続（パブリックコメント）に提出されたご意見の要旨と区の考え方

- 1 実施期間 令和4年3月11日（金）から令和4年3月31日（木）まで
- 2 提出者数 40名（電子申請34名、郵送3名、FAX2名、窓口1名）
- 3 提出意見数 80件（目指す5つの方向性56件（内訳：スポーツ・アウトドア17件、人々の交流機会17件、歴史・文化10件、防災8件、羽田イノベーションシティ等との連携4件）、公園のコンセプト9件、公園の運営11件、整備・運営の事業手法3件、その他1件）

No.	分類	ご意見の要旨	区の考え方
1	5つの方向性（スポーツ・アウトドア）	日本・世界の玄関口となる場所に区のシンボルとなるようなスケートボードパークを設置してほしい。区には多数のプロ、オリンピック候補が居る。地元羽田から世界に羽ばたく若きスケートボーダーが育つよう、世界大会会場や近隣区民が練習として利用できる施設。空港近くなので、音等の心配もなく、子どもから大人までのびのびと楽しめる。	スポーツ・アウトドア活動とその施設について、アイデア募集や意見交換会等においても多種多様なニーズをいただき、本編P20～26にとりまとめております。限られた公園面積において、それらの多種多様なスポーツ・アウトドアに関するニーズを実現する仕組みについて、検討を進めてまいります。
2		ヨガ、ジム、武道などに利用できる体育館のような場所。	
3		色々なスポーツ大会などをやれば区の利益になる。	
4		運動指向が高まり、ランニング、ウォーキング、サイクリング等が賑わっており、近くの公園で運動器具を使った運動も人気がある。若者や高齢者が屋外で楽しく体力作り出来るよう、運動公園を作り、運動器具を設置してほしい。	
5		多摩川河川敷を走るランナーやサイクリングを楽しむ人が目的地にしたい公園にしてほしい。	
6		パークゴルフ場を設置してほしい。	
7		ウォールハンドボールを設置してほしい。ラケットを使わずに手で壁打ちテニスをするもので、垂直の壁とボールがあればよく、維持管理がほぼ不要。けがをしにくく、幼児から高齢者まで幅広い年齢で気軽に楽しめ、ヨーロッパではトーナメントが行われるほどメジャーなスポーツである。	
8		パンプトラックを設置してほしい。パンプトラックとは、路面が大小で波のように起伏している周回型コースで、ホイールを使う全てのスポーツで楽しむことができる。MTB やBMX の自転車、スケートボード、車いすなど、年齢を問わずレベルにあわせて楽しむことができ、自転車講習会や体験会も実施できる。観覧に配慮したコースとしたり、国際大会を開催することも可能。	
9		グランピング等をできるようにしてほしい。	
10		各層が様々なスポーツを雨天でも体験出来る複層式で、大規模なスポーツアリーナを作って欲しい。災害時にも使用でき、スポーツ振興の為にも良い。	

No.	分類	ご意見の要旨	区の考え方
11	5つの方向性 (スポーツ・アウトドア) (続き)	ウォーキングエリア、自転車エリア、マルシェ等は良い。	本編 P37 にお示したゾーニングはあくまでも一例です。本公園で目指す5つの方向性や立地特性等を踏まえたゾーニングや施設等の提案がなされるよう、民間事業者と対話を行ってまいります。
12		サイクリング拠点とするなら、ソラムナード羽田緑地を含めた多摩川沿いエリアを、自転車通行可能としてほしい。	
13		障害がある方、病気の後遺症、がんリハビリ等の方が安心してウォーキングできるエリアがあるとよい。	
14		スケートボード利用だけは反対だ。天空橋駅前交通広場やソラムナード羽田緑地の夜間帯に、集団でたむろし通行の阻害をし、治安的によくなり、騒音問題もある。	
15		子どもが遊ぶアスレチックが出来れば大勢人が集まり、羽田も活性化する。	
16	子どもの想像力が育まれるような公園が理想。羽田という地だからこそ、海外の遊具デザイナー（カラフルでユニークなもの）を取り入れてもらいたい。	子どもが屋外で安全にかつ楽しく遊ぶことのできる施設・環境について、アイデア募集や意見交換会等においてもご意見をいただき、本編 P20～26 にとりまとめております。限られた公園面積の中で、それらのご意見を実現する仕組みについて、検討を進めてまいります。	
17	飛行機型のベンチを置いたり、子どもが自由に駆け回れる広場を整備し、親子が楽しめる空間にしてほしい。		
18	若い世代の利用も想定し、手頃な価格で空や飛行機を見ながら、騒音を気にせず、ゆっくり休んだり、語ったりでき、軽食もとれるカフェがあるとよい。		
19	リピーターが期待できるレストランや飲食可能なマルシェ。	アイデア募集や意見交換会等においても公園における飲食に関するご意見をいただき、本編 P20～26 にとりまとめました。限られた公園面積の中で、それらのご意見を実現する仕組みについて、検討を進めてまいります。	
20	散策途中に立ち寄れる飲食施設を配置してもらいたい。空港内外に勤務する従業員も対象にする。		
21	羽田名物の穴子丼や、空をモチーフにした食事の販売。		
22	羽田から糀谷地域の飲食店を出せば、地域の創生やお店の存続につながる。		
23	コロナ禍にあって、オープンスペースは新たな役割や価値が求められている。今までの公園の既成概念に捕らわれず、特定の用途や年齢層を対象とするのではなく、子供から大人、お年寄り、障害のある・なしに関わらず、だれもが憩いやにぎわいを感じ、くつろげるような多様性を意識したフレキシブルな公園となることを期待している。		公園を取り巻く社会状況は変化し、緑とオープンスペースの重要性が再認識されており、本コンセプトブックではポストコロナを見据えた公園の整備・運営についての基本的な考え方をとりまとめています。コンセプトや Full, Flat, Flexible の考え方（本編 P35）を共有する多様な主体が、柔軟な公園運営をできるよう検討を進めてまいります。（本編 P39～41）

No.	分類	ご意見の要旨	区の考え方
24	5つの方向性 (人々の交流機会) (続き)	近隣住民をはじめ様々な人が訪問し、楽しい時間を過ごせるよう継続的に改善し、閑散とした公園ではなく、いつも人々の交流があり賑わいのある公園にしてほしい。	多様な世代、多様な地域の方々が本公園を利用し、新たな交流を通じることで、生きがいやまちへの愛着を育み、地域力の向上等につなげていく必要があると考えています。そのためには公園の施設や運営がサードプレイス（本編 P29）としての機能を発揮することが重要です。本公園の立地特性は、区内外の多様な人々が集いやすい周辺環境が整っており、多様な方々の利用が想定されます。バリアフリーは当然のこと、ユニバーサルデザインへの配慮や新しい概念であるインクルーシブな施設デザインが導入され、様々な交流の創出につながるよう取組みを進めていきます。
25		様々な人たちが触れ合い交流する「場」の実現には、緑地やオープンスペースだけでなく、多目的に使える交流施設が必要。屋外スペースと屋内施設を組み合わせ色々なイベントを実施する。	
26		夏は暑いので回りに木を植え、日陰を作る必要がある。	
27		植物が見える景観としてほしい。	
28		観光客も集まる活気のある公園としてほしい。	
29		気軽に自転車や徒歩で行けるドッグランを作って欲しい。一般の公園では、衛生面の問題で入れる区画に制限があったり、騒音の問題もあつたりするが、ここなら可能。有料にして管理すれば、衛生面を保つことができる。きちんとマナーやルールを設けた動物に優しい施設にしてほしい。飛行機での移動前に犬を遊ばせることができれば、疲れて寝た状態で飛行機に乗れる。	
30		犬用のプール併設カフェや、空港ならではのモチーフ、フォトスポットを設置することで、旅行者や他区からの人の特別な場所となり SNS などでも拡散されて注目される。	
31		ボランティアと提携して保護犬の里親探しの掲示板や、触れ合えるスペースがあるとよい。	
32		1人掛け用の椅子を置くことで、ふらっと入って休めるようにする。そこから、繋がりが出来る。	
33		障害がある方も安心して使えるよう、手すりのあるコーナーや、段差が小さいアーチ型の階段橋を設置してほしい。	
34		草花の種を複数種ブレンドして1度に播種（種まき）し、花の開花リレーを楽しむシステムを導入してほしい。1,000㎡程度の広さに、春と秋の年2回種をまくことで、約6か月間、開花を楽しめる。花畑を見ることで心が癒され、複数の花の種類を探す楽しみがある。また、花摘みイベントを開催して、摘んだ花を持ち帰れるようにする。	

No.	分類	ご意見の要旨	区の考え方
35	5つの方向性 (歴史・文化)	カルチャー教室（語学、音楽、美術等）を開けるアトリイのある施設があるとよい。	本コンセプトブックの上位計画である「羽田空港跡地第1ゾーン整備方針」では、文化・アート産業の創出や羽田の歴史の伝承を重点プロジェクトに位置付けています。羽田空港跡地が有する歴史的経緯（本編 P5,6）を踏まえた歴史発信・伝承や、羽田地区の文化活動、さらに国内外にも広く発信するアートの取組みなど、多様な主体が参加・参画できる仕組みづくりについて検討してまいります。
36		公園＝スポーツ・アウトドアでは目新しさに欠ける。大田区ならではの立地を生かし、「文化・多様性」という視点を盛り込んでほしい。	
37		アートを取り入れた屋外遊具、欧州風の巨大迷路、土俵など、お国柄が感じられる遊び・スポーツが楽しめるようにしてほしい。	
38		独創的なデザインの「アート城」をシンボルとして設置し、遠方でも目を引くデザインとする事で、新たな羽田のランドスケープとしての役割を担うと同時に、様々な国の歴史・文化を学べるワークショップを実施してほしい。	
39		大田区ゆかりのアーティストによるパブリックアートの設置や、インスタレーション展示、薪能、大道芸など、日本の伝統芸能から世界のショーなど、多彩なイベントを実施し、区民はもとより外国人を含む多くの観光客を呼び込み、わざわざ足を運びたい公園としてほしい。	
40		野外コンサートホールを設置してほしい。	
41		昔は穴守神社、海水浴場、大学の運動場等の人の集まる場所で、今は海外の人を含めた交流の場所となっている。又、敗戦後に住んでいた方々が強制撤去させられたエリアであり、存在感のあるモニュメントを造ってほしい。	
42		昔は穴守稲荷があり、地下深くから鉱泉をくみ上げ、温泉宿が並ぶ温泉街だった。それを、復活再現してほしい。	
43		羽田祭時の神輿のルートにする。盆踊りや渡し船などのイベントを開催すれば、地元の方が活躍でき、他県や他国の方にアピールできる。	
44		羽田空港という他にはないアドバンテージとポテンシャルを有している。羽田空港は離発着数で世界に冠たる有数の大空港で、清潔さなど質的にも常に世界トップであり、日本を代表する空の玄関だ。こうした巨大空港に接する公園は日本では数少なく、そのポテンシャルを活かすため、大森海苔のふるさと館のような「交流施設」によって旧羽田三町や羽田空港、そして航空機の歴史を伝承する機能を盛り込んでほしい。	

No.	分類	ご意見の要旨	区の考え方	
45	5つの方向性(防災)	避難所用のトイレ、かまど、宿泊施設等がほしい。	本公園を含む周辺エリアは東京都震災対策条例に基づき、避難場所に指定されており、発災時に避難できるオープンスペースとしての機能を発揮する必要があります。また非常時だけでなく、平時における防災訓練の場となるなど、防災力向上に資する整備・運用を進めていく必要があると考えています。具体的な施設・運用については、避難場所であることを踏まえて、検討を進めてまいります。	
46		空港跡地利用は区が長期計画に羽田航空宇宙博物館や稲谷、羽田のゼロメートル地帯から避難できる高台の防災公園と明記していたが、なぜ方針変更したのか。空港と港が見え世界に誇れる航空防災公園にしてほしい。		
47		救援物資の輸送等として、舟運以外にヘリや空飛ぶクルマ等を活用するためのポート配備もあった方が備えの強化に繋がる。非常時以外は民間に貸し出せばよい。		
48		災害発生時の対応に広場が必要だが、水の供給も必須だ。平時は、その水を利用し人工の虹を作ってもよい。		
49		防災ベンチを設置し犬連れも避難できるようにする。		
50	5つの方向性(防災)	災害への備えが、目指すべき5つの方向性の4番目にはじめて出て、軽すぎる。避難場所確保観点からの検討が不十分だ。避難場所はこの地域にとって極めて重大で、その重要性を中心に置くべき。2ヘクタールは避難場所として圧倒的に不足している。	本公園で目指す5つの方向性については、本公園に対する多様なニーズに応えるとともに、地域課題解決につなげていく方向性としてとりまとめたもので、いずれも重要なことであると認識しています。	
51		避難場所確保の要請から固定施設の設置は可能な限り避ける必要があるが、公民連携手法では営利事業を行う民間設置主体の意向と合致しないのではないかと。民間設置主体は非常時にどのような責任を負えるのか。		発災時に本公園が避難場所としての機能を発揮できるよう、検討を進めてまいります。
52		多摩川沿いという位置は、津波遡上の危険を考えると、避難場所の適性に欠ける。		
53	5つの方向性(羽田イノベーションシティ等との連携)	HICity、空港ターミナルとの連携が重要。HICityの事業コンセプトとの親和性や空港と連携してほしい。	羽田イノベーションシティは新産業創造・発信拠点として、先端産業、文化産業、地方創生取組のハブなどの役割を有しております。本公園をスマートシティ構築における社会実験の場として活用するなど(本編 P30)、相互に連携することにより、まちの価値向上が図られるものと考えています。また、多摩川水辺空間の散策や豊かな自然とのふれ合いなど、羽田空港跡地全体の回遊性や魅力の向上につながるよう、本公園周辺施設との連携について、検討を進めてまいります。	
54		HICityとの連携による最先端テクノロジーを気軽に体験できるコーナーを設置してほしい。		
55		天空橋、弁天橋方面から公園を經由しソラムナード羽田緑地につながる散策路を整備し、季節の移り変わりを感じる並木としてほしい。高齢者も安全に移動できるよう、一部道路横断部等については立体化し、羽田地区と公園、HICity、ソラムナード、多摩川スカイブリッジを有機的に連絡できるようにしてほしい。		
56		飛行機、多摩川の水辺活用・水辺のレジャー、HICityへの相乗効果は不可欠。		

No.	分類	ご意見の要旨	区の考え方
57	公園のコンセプト	様々な関係者と充分検討された内容（コンセプト）になっており、今後の公園計画にはコンセプトに記載された様々な視点を考慮して欲しい。開園後は、このコンセプトブックに従った公園整備や運営、維持管理に期待する。	本コンセプトブックでは本公園の整備・維持・運営の全般にわたる基本的な考え方をまとめています。まとめるにあたっては、歴史的経緯・立地特性、社会状況、多様なニーズを考え方の土台として、目指す5つの方向性、コンセプト等を設定しました。このような考え方に基づいて、本公園の整備・運営を進めてまいります。
58		立地特性を活かし、全国から人を集めるコンセプトとすること。「空を飛ぶことの夢」として夢を子供達に与える。飛行機関連技術は科学技術の原点であり、子供達へのサイエンス・マインドの裾野を広げる未来の展望に必要。	
59		日本の大玄関であり、貴重で広大な空港跡地が未来に向けて有効活用されるよう考え、世界に繋がる海と空に近いこの地に世界が驚き感動する他に類を見ない公園を創出させること。未来を担う子どもたちを主体にした賑わい溢れる空間にしてほしい。	
60		日本の未来に貢献し、10年20年を見越して計画を考えることが必要。飛行機ファンの総数は膨大。航空機関連技術は産業振興の裾野を広げ、大田区の産業振興に貢献する。大田区のシンボルである羽田空港ならではの公園とし、模型飛行機広場、飛行機遊戯機器設置、はねびよんをテーマにするのがよい。飛行機や飛行艇の実機を展示し、写真撮影スポットを設置する。	
61		敷地面積が限られるので、区が必要とする公園面積を減らさずに屋内空間をプラスするため、なだらかな丘状の屋上緑化により建物と公園を一体化する。そうすることで、空間利用の効率化・多機能化、海や飛行場に向けた眺望の展開、SDGs 関連（断熱・省エネ・CO ₂ 削減・ヒートアイランド現象緩和）等に加え、羽田空港という立地とポテンシャルをフルに引き出す特徴的で多様な体験・コンテンツの提供が可能となる。	
62		再生可能エネルギーが全てに活用される施設整備。	
63		上空を航空機が通過する解放感のある公園とし、世界との繋がりに関連する補助施設・設備を併設してほしい。	
64		本公園に人が集まるには、どのようなインセンティブがあるかを考えることが必要。人が集まり、憩い、楽しみ、充足感のある交流はどのようにしたら得られるか、ここならではの魅力は何か。賑わいはこのコンセプトで充足されるか。安らぎが飛行機の離着陸のもとで得られるか。この立地にベビーカーで気楽に来られるか。	
65		HICityとの棲み分けに留意し、地域の高齢者、子どもが楽しく利用するために必要な機能に絞った方がよい。	

No.	分類	ご意見の要旨	区の考え方
66	公園の運営	便利さや一時の流行を追うよりも、数十年後の区民も納得でき、区外や国外から来た人も、ここでしか味わえないような体験が、将来何世代にわたってもしめる工夫をしてほしい。川崎と橋がつながったことで、商業主義視点の開発が増え、どこにでもあるような開発になることを危惧する。将来世代に説明がつかず、サステイナブルではない。	今後、公園に対するニーズや社会状況は変化していくことが想定されます。区民の皆さまに愛着をもってもらい、本公園を使い続けていただくために、本コンセプトブックでお示している5つの方向性、コンセプト（Co-Design!～みんなでデザインしよう～）、3つの整備・運営指針（Full、Flat、Flexible）等に基づき、利用者・民間事業者・区の三者でそれぞれの役割を果たしながら、より使いやすい公園となるよう、柔軟な公園運営を実現する仕組みづくりについて検討を進めてまいります。
67		公園運営においては、区と区民・利用者、そして運営を担当する民間事業者という三者による密接な連携が成功のカギ。三者が運営の責任を持つことになり、その三者のリンクが強固であればあるほど本公園はより良くなる。	
68		住民参加型公園運営は面白いが、隣接した住宅地がないので、運営には大田区の積極的な関与が必要だ。	
69		住民参加は魅力的な運用方法だが、住民の関心がどれくらい集められるか、どうやって関心を強く持ってもらうか。意見のとりまとめ、できること・できないことの仕分け等が大きな課題で、大田区のアシストが欠かせない。	
70		羽田空港の過去の歴史に配慮するとともに、隣接する羽田地区との関係にも留意した公園を想定していることは良い。将来の円滑な維持管理にも留意し、地元関係者や多くの人が満足する公園であって欲しい。	
71		協議会設置と話し合いを通じた運営は望ましい。	
72		協議会とは別に分科会を設置し効果的な議論を行う。	
73		夜景を楽しめるように、地中埋め込みライトやブラケット照明等を使用し、安全性とムードアップをする。	
74		未来につながる催し、イベント、読書室などの実施。	
75		植栽の管理作業の一部を専門業者が行い、その他は一般の方が容易にでき、植物を育てる楽しさを体験できるようにする。ボランティア組織を立ち上げることで、参加者同士の交流もはかられ、スムーズな運営が期待できる。	
76		大田区平和都市宣言にふさわしいように、戦闘機や銃などを見せびらかすような店舗は置かないでほしい。	

No.	分類	ご意見の要旨	区の考え方
77	整備・運営の事業手法	Park－PFI の適用を視野に入れているようだが、公園面積により収益施設の機能も変わるので、公園機能確保のために面積は大きい方が良い。	本公園は新設の公園であり、事業手法を検討するにあたっては、「ゼロから考える施設配置や使いかたの自由度の高さ」「限られた公園面積における多種多様なニーズの実現」「時代やニーズの変化に柔軟に対応できる管理・運営」を3つのポイント（本編 P31）としています。具体的には整備と運営を一体的に行っていく公募設置管理制度や、住民参加型公園運営の活用を基本に、検討を進めてまいります。
78		公募設置管理制度（Park-PFI 制度）は、公的資金だけに頼るのではなく、事業者が自ら稼ぎ、それを公園整備に投資するという自立的手法であり、新しい公園の在り方だと大変期待している。問題は、どうやって集客し稼ぐかで、公的資金を投入して維持することになれば本末転倒。集客のためにはどれだけ魅力的なコンテンツを提供できるかに懸かっている。「地域力」として行政と民間事業者（民間企業、NPO、地域住民等）との「公民連携」によって、民の持っているノウハウや人的、物的、資金的パワーを利用するには、「民」にとって活動しやすいよう積極的な対応が必要。手続きの簡素化や参入ハードルの低下など、「民」が離れていかないように、区内の他の公園とは違う特別な運営措置が求められる。	
79		マーケットサウンディング時の関係事業者からの提出内容は、極力簡単なものにしてほしい。	
80	その他	公園予定地と HICity との間にある、今回開発対象外の用地も含めた同時一体開発とすべきで、同用地の将来開発を考慮した条件設定が必要だ。	ご指摘の土地は国有地となりますが、区としては公園と一体的に活用することが最適であると考えています。この土地が羽田空港跡地のまちづくり全体に資するものとなるよう、取り組みを進めていきます。